

○ 第1部 市政報告

【市からの状況説明】

1. 新型コロナウイルス(これまでの総括、ワクチン接種等)
2. 全国屈指の森林観光都市を目指したまちづくり(魅力づくり、4駅にぎわい)
3. 電子商品券事業
4. 表丹沢野外センターの充実
5. 土地区画整理事業の現状
6. 羽根スポーツ広場(仮称)用地の活用
7. 通学路整備・市道改良・公園遊具改修等
 - ・市道14号線道路改良
 - ・菩提横野線街路整備事業

市長

※詳細は別途資料参照

○ 第2部 地域まちづくりについて

1 新東名高速道路(秦野丹沢サービスエリアのスマートチェンジ(SI)完成後の犯罪・事故対策について

【市からの状況説明】

(1) 交通安全対策

- ・ スマートIC設置に伴い、安全対策として横野4号線(アクセス道路)に歩道を整備したほか、今後、押立橋がらグリーンベルトを設置する。
- ・ 上りスマートICの出入口は、中日本高速道路(株)が用地を取得し整備したが、歩道の整備は困難である。このため、歩行者が上り線の出入口へ通過しないよう誘導するために、押立橋から下り線側の側道へ誘導しグリーンベルト及び看板等を設置する。また、上り線の出入口には暗い箇所もあるため、安全確保のために反射板を今後設置する。
- ・ 金属版の遮音壁については、新東名対策協議会において説明がされており、また他地区でも同様の要望があったが、中日本高速道路(株)からは変更できない旨の回答があった。そのため、工事に設置されていた押立橋下り線側の仮設カーブミラーは、工事完了後も存置し、交差点の見通しを確保する。
- ・ 矢坪沢沿いの仮設フェンスは、工事終了後に全部撤去され、現在、トラロープが設置されているが、アクセス道路との高低差があり、転落の恐れがある箇所については、今年度、市で転落防止柵を設置する。

建設部長

(2) 市道2号線の舗装改修

- ・ グリーンベルトの設置工事と併せて舗装を実施できればよかったが、中日本高速道路(株)の工事が時間を要するため、市で先にグリーンベルトを設置した。舗装については、今年度中に中日本高速道路(株)にて打ち換え工事を行う予定である。

(3) 街路灯の設置

- ・ スマートIC外周道路への街路灯の設置について、関係機関等と調整を図り、その結果、押立橋前後の交差点に1箇所ずつ、横野側は下り線スマートIC下の交差点に1箇所ずつ、戸川側は新東名を挟み市道52号線との交差点に1箇所ずつ、以上、主要な交差点6箇所に局所的な照明を今年度より順次設置する。



(4) 防犯灯の設置

- ・ 道路照明を補完する役割として、地域住民の要望を伺いながら、防犯灯の設置を順次進めている。9月には、秦野丹沢スマートICへのアクセス道路である横野4号線に防犯灯を3灯、新たに設置した。この場所から押立橋へ向かうところに、NTT柱が立ち更に4灯、計7灯を年度末までに設置する方向でNTTと調整を進めている。
- ・ 側道の東電柱の設置について、中日本高速道路(株)と調整しており、建柱後、地元と相談の上、防犯灯を設置する。
- ・ 防犯灯については、地域安全課へお気軽に御相談いただきたい。



くらし安心部
長

【質問・要望・意見等】 なし

2 有害鳥獣、ヤマビル対策について

【市からの状況説明】

(1) ヤマビル対策

- ・ ヤマビル対策は、抜本的な対策がない。行政だけでは対応が困難であるため、多くの市民や団体の御協力により対策を講じている。
- ・ 観光地のヤマビル被害は、表丹沢、頭高山、弘法山公園、渋沢丘陵にも徐々に広がりを見せている。
- ・ 本市を訪れる観光客の中には、ヤマビルを知らないで訪れる人もいる。被害に遭われることで、観光地のイメージが悪くならないよう努める。

(2) 耕作放棄地

- ・ 補助金制度があるが、最近2年は活用実績がなく、ぜひ活用をお願いしたい。活用にあたっては、面積要件等があるため、まずは御相談いただきたい。
- ・ 「手入れの入らない山林」に対しては、県の補助金を活用した森林整備やボランティア団体による里山保全活動を行っている。
- ・ 里山整備は、現在、ボランティアの高齢化が課題であるが、コロナ禍の都市から地方への流れを捉えてボランティア活動を活性化したい。
- ・ 唐沢川の管理については、地域の要望により、令和3年度末に現場立ち会いを実施し、今年度、コンクリート土嚢を使用した補修を終えた。

環境産業部
長
(建設部含む)

【質問・要望・意見等】 なし

3 小中学校の通学路における安全対策について

【市からの状況説明】

- ・通学路の安全対策は、毎年度、各学校、保護者並びに地域の皆様の御協力により、安全点検を行い、危険箇所についての改善や要望は教育委員会へ提出いただいている。その後、現地確認が必要な箇所について、市、秦野警察署及び関係機関等が連携して、合同点検を行い、それぞれの場所に合わせた、実現可能かつ最適な安全対策を進めている。
- ・ 昨年6月に千葉県八街市の通学路の事故を受け、これまで以上に安全対策を強化するため、今年度は新たな2つの取組を始めた。1つは、学識経験者や保護者、地域の代表者などを構成員とする通学路安全対策推進懇話会の設置である。7月と10月に、2回懇話会を開催し、様々な視点で、専門的な見地から、通学路に対する安全対策の助言等をたくさんいただいた。懇話会には、秦野市自治会連合会の会長にもご参加いただいている。
- ・ 子どもたちの見守り体制の強化を図るため、2学期からは通学路の見守りボランティア登録制度を開始した。
- ・ 既にPTAや各自治会の皆様など、様々な団体において登下校時の児童生徒の見守り活動にご御協力いただいているが、今回新たに開始したボランティア登録制度では、特定の団体に属していなくても子どもたちの見守り活動にご御協力いただける地域の皆様を対象としている。散歩やゴミ出しの時間帯に登下校する子供たちへ気軽に声掛けなどをしていただくことで、子どもたちの安全を守り、地域交流の活性化にもつなげる。
- ・ 北地区では、昨年6月に下校中の児童と通行車両が接触した事故を受け、改めて子どもたちへ交通安全指導を行っている。今年は、1学期の終業式に、市と秦野警察署が共同で北小学校の正門付近で下校時の児童へ、車に対する注意を呼びかける見守り活動を実施した。
- ・ 秦野警察署の指導による「交通安全教室」や、同じ地域の子どもたちが互いに助け合い、保護者も見守り安全に登下校するための「地区児童会」を通じた、子どもたちへの注意喚起と交通安全意識の向上に努めている。

教育部長

(1) 道路の拡幅

現在、菩提横野線の新しい道路整備を計画しており、現況の道路幅員も狭いことにより、歩道及びグリーンベルトの設置が困難なため、通学路の安全対策としては、効果的な路面標示の導入を検討している。

また、畑の土砂流出は、農政部局を通じて地権者に土砂流出防止対策の御協力をお願いします。

畑の土砂が歩道に流失・堆積し、道幅が狭く、危険



建設部長

(2) ガードレールの設置(市道51号線の矢坪沢交差点から山辺保育園方面へ曲がるまでの道路)
歩道へのガードレールの設置は、一定の幅員が必要になるため難しい。
まずは、ラバーポールを設置、車両の運転手へ速度抑制の注意喚起を促す
路面標示の設置を考えている。

通勤時の抜け道の利用が多く、登校
の混雑時に車道に出る子もいて危険



建設部長

(3) グリーンベルトの設置(北小学校～JA北支所までの川沿いの道路)
今年度は、これまで進めてきた道路拡幅事業の最終年度となり、
川側にグリーンベルトを設置する。

道幅が狭く、
車と歩行者の通行が重なると危険



建設部長

(4) グリーンベルトの再整備(戸川駐在所～戸川公園への上り坂)
市道52号線については、中日本高速道路㈱により、道路の劣化が
激しい箇所に対して、今年度、舗装補修工事が予定されており、
その中でグリーンベルトや路側帯が薄い箇所の原形復旧工事を予定
している。

グリーンベルト・路側帯が薄い



建設部長

(5) 横断歩道の設置(横野141番地付近の交差点)

- ・ 横断歩道等の交通規制は、交通管理者の警察が所管する。そのため、秦野警察署に現地の状況を説明し、横断歩道設置の要望を伝えたところ、一旦停止線が設置されているため、車両は停止するものと考えており、通行者数及び車両等の通行量が少なく横断歩道を設置することはできないとの回答であった。
- ・ このような中、市では、現在設置されている止まれの交通標識のほか、通学中の児童の存在を注意喚起する看板の設置を検討し、今年度は、児童が飛び出さないよう、子供にも目立つ、シールを歩道に貼る予定である。
- ・ このような取組をしたうえで、さらに北側にある神戸菓子店近くの横断歩道を使い、先に学校側の歩道に渡るルートも考えられるので、学校側とルートの変更を含めて安全対策を調整する。

見通しが悪く、
横断歩道の設置を要望



くらし安心
部長

(6) 歩行者用信号機の青の時間の延長(菩提中華店前)

- ・ 信号機の制御等の交通規制は、交通管理者の警察が所管である。
- ・ 秦野警察署に現地の状況を説明し、信号機の秒時変更に係る要望は既に報告している。令和3年度の要望により、現在の秒数まで時間を延長しており、これ以上歩行者信号の秒時を延長することは車両の通行量から判断して難しいとの回答である。
- ・ 市としては、交通指導員が立っているため、青信号の途中で渡らせるのではなく、確実に青信号になってから渡らせる、また、人数が多い場合は、2班に分ける等の渡らせ方を工夫する。

青信号の時間が短く
歩行者の横断に支障



くらし安心
部長

(7) 道路の拡幅及び歩道の設置(中華店前～菩提原会館)
・ 安全対策の一つとして、本年度、会館側へグリーンベルトの設置工事を予定している。

建設部長



道幅が狭く、通勤時間帯の交通量が多いため危険

(8) 横断歩道の設置等安全確保(三屋20号線と戸川6号線の交差部)
・ 秦野警察署から横断歩道の設置は難しいとの回答である。
・ 代替策として、車両の運転手に安全運転の注意喚起を促すため、横断歩道のような太目のグリーンベルトの設置工事をする。
・ 太目のグリーンベルトの設置については、今年度、他の地区で試行的に実施したところ、地域の方から非常に効果があるとの意見もある。


建設部長



勾配にカーブで見通しが悪く危険



【質問・要望・意見等】 なし

○ 第3部 市政全般について		
<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北小学校正門前の葛葉川に架かる橋が狭く、危ない。 ・ 軽自動車がぎりぎり通れる程の幅のところを、児童や送迎の車が通り、大変危険である。 ・ 登下校の時間だけでも、車両の通行規制ができないか。 	 <p>橋の幅が狭く、登校時に送迎車両が通り危険</p>	青少年育成部会
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登校時間に、迂回路として利用される道路について、交通規制の要望の意見をいただくことが多いが、全てが実現できるわけではない。生活道路として利用の多い箇所の交通規制は難しいが、警察へ情報提供し、今後話し合いを進め、結果は、改めてお知らせする。 		くらし安心部長
<p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戸川用水を点検しに行く途中にヤマヒルがたくさんいて困っているため、具体的な対策を聞いているが、市の説明は、薬や草刈りの補助金等を渡すから自分たちでやってくださいの意味なのか、よく分からない。 ・ テレビで耕作放棄地に生育の早い木を植え、有効活用を図っている番組を見た。施策の参考としていただきたい。 		戸川中自治会
<p>(市回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政として、全て対応するのは難しい。そのため、用水路の清掃等をするにあたっては、ぜひ補助制度をご活用いただきたく、御相談ください。 ・ テレビでの耕作放棄地の取組については、市としても、研究し、その後の有効活用等に取り組む。 		環境産業部長
<p>(御礼)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 扇沢橋を渡り、森下総建裏側に16軒ほどの新興住宅があるT字路と扇沢バス停の前の旧不二家の跡地に建築資材置き場ができ、大型トラックが通るようになったT字路にカーブミラーを設置していただき感謝する。 ・ 要望時、親切丁寧にご対応いただき、即日、現地を確認し、約1か月でカーブミラーが設置された。 		羽根東自治会

(要望)

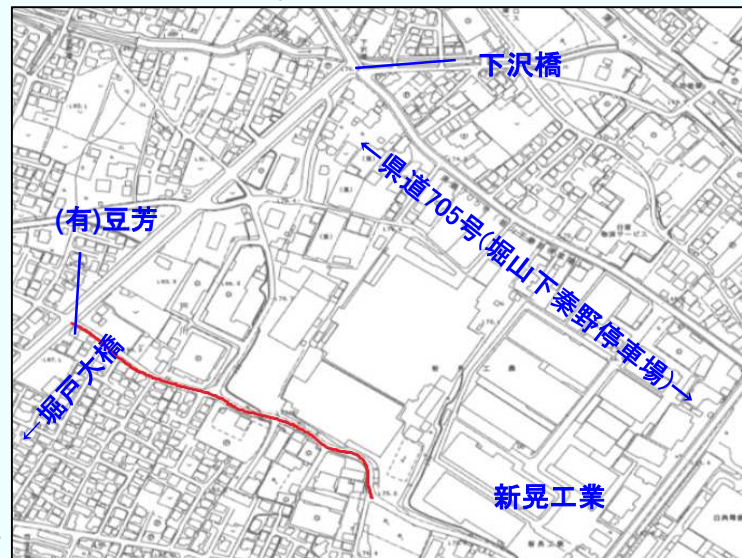
- 市道16号線(堀戸大橋から北へ上りセブンイレブンの先の交差点)の信号機が非常に早いため、学童や高齢者等が横断歩道を渡り、半分くらいのところで点滅を始める。市へ事前に話をしているが、残りの時間数を表示する横断歩道用の信号機に変えていただきたい。
- 豆芳から工業団地へ入る道路は、非常に狭いが、大型の重過積載のトラックが通るため、道路の路面が非常に荒れている。夏の暑い時期にすえ切りと言ひ、ハンドルをめいいっぱい回し、住宅地へ進入するため、アスファルトが歪み、凹凸が激しくなっている。さらに、その路面の上を重量の重いトラックが通るため、家が揺れる。住民から改善要望があり、市へお願いしたところ、「お金がないので今はできない」との回答であったが、至急改善をお願いしたい。

【後日補足】

- グレーチングがあることで段差が生じ、その上を車が走ると家が揺れ、路面の凹凸により走行しにくい。また、朝早い時間に大型車が納品に来るが、並んで(待機)しまい、迷惑であるため、大型車の進入の交通規制をかけてもらえないか。



青信号の時間が短く、学童や高齢者等が渡り切れない



路面の凹凸が激しい

戸川原自治会

(市回答)

- 先週、現場で、渡り終える前に赤信号になってしまうのを確認したが、体感としてかなり短い。
- 青信号の点灯時間は約30秒あるが、赤信号とのバランスが悪く考えており、秦野警察署へ青信号全体の時間は変わらずに、青の点滅の時間を増やすようお願いをしている。結果は、改めて、自治会連合会長へお知らせする。

くらし安心部長

(市回答)

- 舗装の要望は件数が多く、幹線道路で15から20年、生活道路で30年以上のサイクルで優先順位を付けながら対応している状況である。要望箇所を確認していないので何とも言えないが、道路に穴があったり、家が揺れるようでは問題だと思うので、現地を確認してほしい。

建設部長

(要望・御礼)

- ・ 羽根の関野商店から人道橋に向かう通学路は、通学の時間帯に、近年、渋沢へ抜ける車両が多く、道幅も狭く、歩道がない。道路の拡張と歩道の整備をお願いしたい。道路の拡張もなかなか難しいと思うので、まずは、グリーンベルトの整備をお願いしたい。
- ・ 羽根を入り、中川橋から関野商店までを大型トラックが進入してくるため、道路の舗装が痛み、羽根自治会が長年、道路舗装整備を要望していた。今年の夏に、舗装していただき、走りやすくなったとの声があり、感謝する。

通学の時間帯に渋沢へ抜ける車両が多く、道幅が狭く、歩道がない

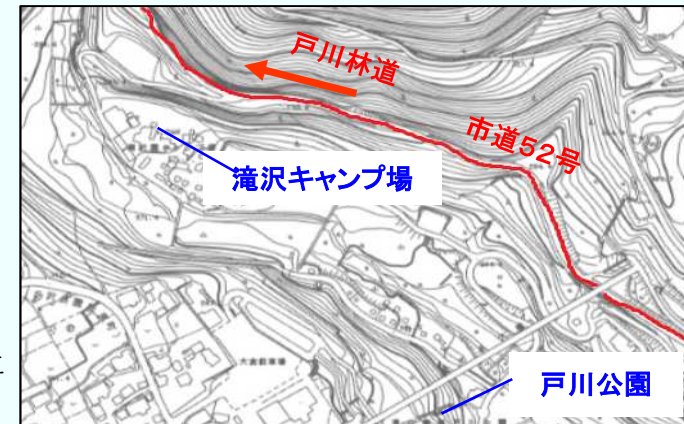


羽根中自治会
会長

(要望)

- ・ 戸川林道には、北林道、中林道、上林道があり、北林道は市道であるが、降雨等により、通行止めになることが多い。
- ・ 通行すると、崩れている箇所もあり、毎年、業者が砂利をまいて整備しているが、効果がないので、少しでも舗装していただきたい。
- ・ 登山者が遭難した場合には、救急車も通るが、大変危険な状況にある。
- ・ 戸川だけでなく、菩提にも林道があるが、市には、予算を確保し、林道整備をお願いしたい。

降雨等により通行止めになることが多い林道



戸川上自治会

(市回答)

- ・ 道路舗装の要望は多く、市街地を優先する必要がある。集中豪雨の際、通行止めとなっていることは確認しているので、どんな対策ができるか検討したい。

建設部長